

世帯と人口

(1月1日現在)		
世帯	43,141	(+ 16)
人口	118,254	(+ 12)
男	60,454人	(+ 5)
女	57,800人	(+ 7)

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。



このまちに住む一人ひとりに「わたしの海老名」がある (海老名プライムタワー屋上から撮影)

もっと愛着感じる海老名へ



豊富な史跡
市内には多くの文化財。休日にゆっくり史跡を巡る家族連れも多い (写真は龍峰寺)

交通の拠点

海老名駅。1日の乗降客数は3線合計でおよそ29万人。通勤、通学、買い物などへの重要な拠点



海老名駅周辺の田園風景。生産者は新しい技術環境にやさしい手法の取り入れに意欲的

広がる農地

海老名市はどんなまちですか。県の中央に位置し、面積26・48平方キロ、11万8000余りの人口。JR・小田急・相鉄の鉄道3線が結節し、東名厚木インターから車で10分と、交通の拠点として知られています。東京・横浜などへ通勤する人たちのベッドタウンで、豊かな緑に恵まれている。また、相模国分寺跡をはじめ文化財も豊富、農業も盛んです。

ところで、私たちにあって、海老名とはどんな存在なのでしょう。一人ひとりにお気に入りの風景、とっておきの場所、そして郷土への思いがあるはず。一方で、決して広くない海老名ですが、意外に知らない面も多いかもしれません。

今年11月、海老名は市制施行30周年を迎えます。市にとっても節目の今、海老名をもっと愛着の感じられる地にしていくためには、自分の住むまちがどんなところなのか、もう一度見直したり、新しい何かを探したりする必要のあるのかもしれません。

※毎月1日号で、「シリーズ「えびな模様」と題して、海老名のまち、暮らし、人々について地域別に紹介します。